

和歌山県白浜半島付近の海岸道路で最近事故死した 3 種の哺乳類

久 保 田 信*

Shin KUBOTA: Three mammalian species recently found as road-kills along a seaside road on the Shirahama Peninsula, Wakayama Prefecture, Japan

和歌山県白浜半島をめぐる海岸道路およびその付近の海岸道路で、最近、3種類の哺乳類、ニホンアナグマ *Meles meles anakuma* TEMMINCK, ホンドタヌキ *Nyctereutes procyonoides viverrinus* TEMMINCK, チョウセンイタチ *Mustela sibirica coreana* (DOMANIEWSKI) が、近接した3地点で交通事故死していたのを通勤中に目撃したので以下に報告する(図1)。

1. ニホンアナグマ 2000年7月24日0時頃発見(地点①)
2. ホンドタヌキ 2000年8月下旬9時頃発見(地点②)
3. チョウセンイタチ 2001年2月18日8時頃発見(地点③)

著者が勤務する京都大学瀬戸臨海実験所付近の海岸道路で、ニホンテン *Martes melampus melampus* WAGNER が数年前に交通事故死した例(細田ほか, 1998; 図1, 地点④)とあわせて、わずか数kmほどのひと続きの海岸道路上、田辺湾側で合計4種の野生哺乳類の死亡が確認されたことになる。いずれの種も夜間に事故にあったものと推察される。また、細田・湊(1982)によると、白浜半島付近にはチョウセンイタチとホンドタヌキが分布しているが、今回報告のニホンアナグマと既に報告したニホンテンはこれまで本海岸区域からは記録がなかった種類であり、ニホンアナグマは白浜町からは初記録である。ニホンテンは白浜町では山岳地帯に生息している(細田・湊, 1982)とされており、生息域が拡大しているための出現のかなどを確認するためにも、今後、海岸およびその周辺域での目撃や事故死などの情報収集が待たれる。

謝 辞

英語を直して下さった Mark J. GRYGIER 博士に感謝する。

引用文献

- 細田徹治・湊 秋作. 1982: 哺乳類 in 白浜町誌自然編 白浜の自然, pp. 91-98. 白浜町.
細田徹治・久保田 信・乾風 登. 1998: ニホンアナグマとニホンテン(食肉目, イタチ科)の交通事故死体. 南紀生物, 40(2), 177-179.

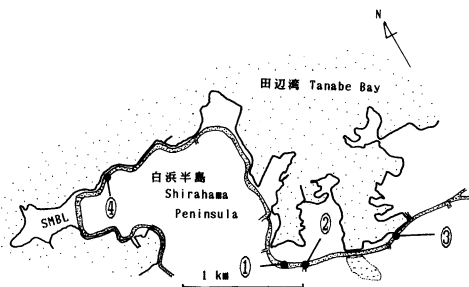


図1 和歌山県白浜半島付近の海岸道路上で交通事故死した3種の哺乳類の死亡場所(①: ニホンアナグマ; ②: ホンドタヌキ; ③: チョウセンイタチ)および報告済みのニホンテンの死亡場所(④: 細田ほか, 1998). SMBL: 瀬戸臨海実験所.

Fig. 1. Locations where road-killed specimens of three species of mammal were found along the seaside road of the Shirahama Peninsula, Wakayama Prefecture, Japan (①: *Meles meles anakuma*; ②: *Nyctereutes procyonoides viverrinus*; ③: *Mustela sibirica coreana*), and the place from which a dead Japanese marten (④: *Martes melampus melampus*) was reported by Hosoda et al. (1998). SMBL: Seto Marine Biological Laboratory.

* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町) Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan